



第1回
先端研所長表彰

「先端賞」

受賞者発表



先端科学技術研究センターでは、令和5年度より、研究、教育、組織運営、及びその他の分野においての業績が特に顕著である教職員を表彰する「先端研所長表彰」を設定し、その受賞者を表彰することとしました。

【賞の目的】

先端研は、「学術の発展と社会の変化から生じる新たな課題へ機動的に挑戦し、人間と社会に向かう先端科学技術の新領域を開拓することによって、科学技術の発展に貢献する」ことを目的としています。この趣旨に基づき、「未来を拓く先端を探し、育て、社会につなぐ」先端研を体現するような、研究、教育、組織運営、及びその他の分野での業績が特に顕著であると認められたものを表彰する制度です。

【審査方法】

今回は初回のため、今年度を含めた直近3年度（2021～2023）での業績を選考対象とし、また、教員のみならず、研究員・職員も含めた全ての先端研構成員も対象としており、個人表彰を原則とするものの、団体を推薦することも可能としました。

【受賞者および受賞団体】

社会とつながり先端を拓く次世代の人材という観点で、次ページの個人・団体を第1回先端賞の受賞者とします。

研究業績部門・特別貢献部門

受賞者 小泉悠准教授（国際安全保障構想分野）

受賞理由

ロシア・ウクライナ危機に際し、データに基づく綿密な分析により国際安全保障の国民的リテラシーを飛躍的に高めるとともに国際平和を希求する安全保障の先端を開拓し、先端研のプレゼンス向上に大きく貢献している。

受賞者コメント

受賞の知らせを受けて、第一印象は「誠にもったいない」という言葉が浮かびました。基本的に理系が強い先端研の中で、文系の、しかもその中でもさらに周辺のことをしている人間を評価してくださったということに、本当にありがたいという気持ちと、そうであるがゆえに、ご期待に沿うようにがんばらなくては、というプレッシャーも感じました。

先端研の中で研究ができるということは、通常の文系の予算額からすると桁がちがう理系の予算スケールで、例

えば高額な衛星画像を取り寄せるといった環境的にも自分には合っていると思います。

私は、これまでの普通の文系の中から出てくる国際関係研究とか安全保障研究ではないことをせっかくだからやろうとやってきましたし、これからもっとやっていきたいと思っています。一方で、理系の人たちも、いわゆる理系的な知識とかメソドロジーを生かして、政治とか安全保障に関わることができると思います。先端研のみんなで、これまでにやってこなかった取り組みを進める場として、シンクタンクのROLES*を設立しました。ROLESは文系を超えた理系的な創発を目指していると思います。ROLES的な場は今までなかなか日本にはなかったと自負しているので、そこを評価していただけたのであれば本当に嬉しいです。

*ROLES 東大先端研創発戦略研究オープンラボ
(RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies)



杉山正和所長（左）より表彰を受ける小泉悠准教授（右）

杉山所長（左）より表彰される森晶子特任研究員（中央）と樗木悠亮助教（右）



教育業績部門

受賞者 先端教育アウトリーチラボ（AEO）・学生アフィリエイト

受賞理由

学校教育の当事者視点を取り入れて先端研と次世代を担う学生をつなぎ、STEAM教育の先端を開拓する中で、「つなぐ」人材として大学生・大学院生が中心的に活躍し、自らも成長する先端的なアウトリーチモデルを構築している。

受賞者コメント

樗木悠亮助教（新エネルギー分野/AEO学生アフィリエイトOB）

受賞については、率直に予想外でしたが、とても嬉しかったです。今までの森さんと頑張ってきたAEOとしての活動や学生アフィリエイトの活動が認められたことだと思います。学生アフィリエイトのOBとしてコメントをということでしたが、自分自身は普通に理工系の学生で太陽電池などの研究に勤む中で学生アフィリエイトとして活動してきました。ここまで続けられたのは、いろいろな方のサポートがあったことで、そういう方々と出会えたことが一番大きな成果だったと思います。

学生アフィリエイトの活動は学校訪問で中高生の面倒を見たり、慣れてくると他のスタッフのマネージメントをするリーダー的な役割が加わったりといろいろな仕事がありました。講演会や学校訪問だけの場合は、1~2時間くらいの拘束時間でしたが、リーダーになるとまとまった案件を任せられます。そうなる人と集めをしたり、機材の調整をしたり裏方の仕事も入るので時間は費やしましたが、労働時間に応じた謝金もあり動画編集などのスキルも身につくので、結果的に忙しくてもやって良かったと思いました。

先端教育アウトリーチラボ（AEO）と

学生アフィリエイトの活動について

森晶子特任研究員（先端教育アウトリーチラボ）

AEO (Advanced Education Outreach Lab) は、東京大学先端科学技術研究センター（先端研）における、次世代育成のワンストップ機能として、先端研ならではの、文理融合・分野横断的な教育プログラムを、教育現場と共創しながら提供しています。

今回の受賞の大きな要素として取り上げて頂いた学生アフィリエイトは、東京大学の大学院生を中心とした多様な学部、専門分野のメンバーで構成され、AEOによる教育実践の大きな割合を担っています。各自が自らのコンテンツや課題意識をもち、「高校生研究員」のメンターや学校での高校生の課題研究支援、「先端研リサーチツアー」の対応、理系分野の男女比格差の低減を目指す取組、研究や学生生活に関するプレゼン、調査研究支援、イベントの企画運営、動画撮影や編集、各種デザイン等、多様な活動を行っています。

研究者よりも高校生等に近い視座から、子供たちに分かりやすいアウトリーチ活動を実現するとともに、学生自身が、分野や属性の異なる人材と触れ合いながら知見を広め、かつ、自身が主役として打席に立つ機会を頻繁にもつことで、成長しています。

学生アフィリエイトは、常時募集しておりますので、興味ある方はぜひご参加ください。

先端教育アウトリーチラボ（AEO）問い合わせ先：office@aeo.rcast.u-tokyo.ac.jp